

地域連携センター Newsletter

ボランティア活動報告

【桃ノ木川を愛する会】環境美化活動 令和5年5月31日(水) 代表 城田果穂



写真：大宝橋下の花壇

桃ノ木川を愛する会では、大学の前を流れる桃ノ木川の美化活動を年に3回行っています。5月の活動では、桃ノ木川周辺の花壇に花植えを行いました。また、新たな活動としてサークルメンバーとの関わりを深めるべく交流会を開催しました。普段、交わることのない他学部・他学年と話すことができる良い機会になりました。地域の方や大学職員の皆さんにも協力していただき、積極的に活動しています。



【第49回ホリデーインまえばし】令和5年8月20日(日)

前橋敷島公園

夏休み最後の恒例行事、ホリデーインまえばし（主催：ホリデーインまえばし実行委員会、共催：前橋市、同 教育委員会）に本学ボランティアサークルから学生10名が参加し、オリジナルカンバッチコーナーを出展しました。当日は厳しい残暑の中、400名の親子連れが本学のテントを訪れ、素敵なカンバッチを作りました。本学教員が親子で参加してくれたほか、本学同窓生も子どもさんを連れて参加してくれました。開会当初は緊張した面持ちの学生たちも、子どもたちとの会話を重ねるうちにすっかり緊張がほぐれ、みな素敵な笑顔で交流を深めることができました。

R5年度新規事業の報告

【看護学実習指導者養成講習会】

看護学部 講師 高橋裕子

2023年度より、看護基礎教育における実習の意義と実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術を教授することを目的として、大学の企画・運営により看護学実習指導者養成講習会が開催されることになりました（厚生労働省認可、群馬県委託事業）。今年度は、7月10日から9月14日の約2カ月間、10単位180時間の授業が提供されました。受講生は、臨床実習で実際の指導場面を観察することを通して、学びを深めていました。9月14日の修了式では、一般33名、特定分野5名の計38名が修了証書を手に入れました。修了生の皆さんが、本講習会の学修成果を活用し、県内の病院等の実習施設で、実習指導者としての役割を果たし活躍することが期待されます。



報告

オープンキャンパスを開催しました

令和5年8月10日(木)、11日(金・祝)

8月10日・11日の2日間、対面形式でのオープンキャンパスを開催し、県内外の高校生と保護者1433名にご参加頂きました。

当日は両学部学生有志の案内によるキャンパスツアーを行い、図書館や教室、CTやMRI室、各実習室や演習室の見学、模擬演習への参加をして頂きました。

参加者からの感想では「他大学ではできないような体験ができた」「とても丁寧に説明してもらった」「CTやMRIなど普段知ることが出来ないことを詳しく教えてくれた」など、好評を頂きました。



第1回 公開講座を開催しました 令和5年8月19日(土)

「家族のレジリエンス

= しなやかに立ち直る力を育てて親子・夫婦・家族関係を強める」

講師：石川県立看護大学 小児看護学分野 教授 戸部 浩美 先生

講師に戸部浩美先生をお招きし、レジリエンスとは何か？レジリエンスを高めるためにはどのようにしたらよいのか？といった視点からペアワークによる参加型ワークショップを開催しました。参加者からの感想では、「わかりやすい説明だった」「自分の気持ちを守る方法を学べてよかった」など満足度が高く好評を頂きました。



【ぐんまシチズンシップ・アカデミー】9月25日(月) 県議会本会議場ほか

看護学部1年生2名が県内他大学の大学生と一緒に、県議会主催のぐんまシチズンシップ・アカデミーに参加しました。当日は、本会議場で一般質問を傍聴した後、県議と意見交換を行い、社会の課題や若者の政治参加などについて考えました。

受賞報告

【日本医用画像工学功績賞の受賞について】



診療放射線学部の大崎洋充教授が、一般社団法人日本医用画像工学会より、医用画像工学分野において「骨シンチグラム解析AIの開発、実用化、および普及」に関する功績が顕著であるとして、日本メジフィジクス株式会社や他大学の研究者と共同で2023年度の功績賞を受賞しました。

【診療放射線学部生の学会賞受賞について】

2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会において、本学診療放射線学部4年生の駒 萌乃さんが「学術奨励賞」を受賞しました。



【看護学研究科博士後期課程修了生の奨励論文賞受賞について】

日本地域看護学会第26回学術集会において、本学看護学研究科博士後期課程修了生である赤堀八重子さんが日本地域看護学会表彰論文の奨励論文賞を授賞されました。

